

川村中高図書館

おすすめ図書



2024年度にデザインが刷新される紙幣。その1万円札の顔になる「渋沢栄一」は日本の資本主義の父と呼ばれる人です。『論語と算盤』は、いまなお広く読み継がれる談話録ですが、コロナ禍で先が見えにくい現代でも彼のように未来を信じる気持ちを強く持てば、きっと大丈夫。今回は渋沢栄一に関する本を紹介します。過ごしやすく集中しやすいこの季節に、読書をして思考を深めてくださいね。

現代語訳 論語と算盤

渋沢 栄一 ちくま新書

道徳を「論語」、経済を「算盤(そろばん)」に例え、その2つを一致させることが必要だと説いた1冊です。この「道徳と経済を調和させる」という考え方こそ、渋沢栄一が生涯を通じて貫いた経営哲学。不誠実な行為から得た利益は「決して永続するものではない」という警告は現代社会にも通じるものがあります。



図解 渋沢栄一と「論語と算盤」

齋藤 孝 フォレスト出版

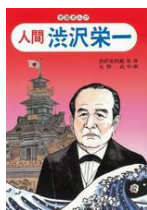
渋沢栄一の人生と「論語と算盤」をイラストや図でわかりやすく紹介しています。福沢諭吉からバトンを渡される「渋沢栄一」という人がどんな人なのか。1度読んでみると理解が深まりますよ。



こちらもおすすめ

学習まんが 人間渋沢栄一

矢野 功 渋沢青淵記念財団竜門社



より易しく渋沢栄一の行動や考え方を知りたいならこちらを。渋沢栄一の前半生を中心にまんがで描かれています。中高図書館に所蔵されているこちらの本は、以前渋沢栄一記念館から寄贈されたものです。

新しい本が入りました

新しい本が続々と書架に並んでいます。読みたかったあの本も、気になっていたあの本も、もしかすると棚に並んでいるかもしれませんよ。是非、中高図書館に立ち寄ってくださいね。

